

## うま味研究助成公募のご案内

うま味研究会は、“うま味”の科学的研究に対して助成を行います。

### 研究分野

◇食品科学，調理科学，生理学，生化学，栄養学，心理学 等

### 研究の対象

下記条件を備えた研究

◇研究テーマが“食”“味”“おいしさ”に関するもの。

◇研究の視点，方法が独創的なものであり，その成果が「うま味の本質」「おいしさにおけるうま味の役割」という課題に対し新しい科学的知見を加え，食に関する学際的研究の発展に貢献することが期待できるもの。

### 研究期間

平成17年1月1日から2年間。

### 助成額

一件あたり総額100万円程度を基準としますが，最終的には研究の具体的内容，規模等に応じて決定します。

### 応募方法

#### ◇申込

指定の申請書に必要な事項を記入の上，うま味研究会事務局に送付。

#### ◇申請書入手方法

当研究会ホームページ <http://www.srut.org> からダウンロード，又は下記事務局宛てご請求下さい。

#### ◇締め切り

平成16年10月29日（金）

#### ◇選考方法，選考結果の報告

うま味研究会の学識経験者による選考委員会にて厳正に審査し決定します。（予定11月下旬）選考結果は各応募者に直接通知します。

### 報告

研究助成開始1年後に経過発表会での口頭報告，研究期間終了後に成果報告会開催，報告書をうま味研究会事務局に提出。

### 出版

研究が完了した時点で学術誌に投稿して頂きます。出版の際は，謝辞に「うま味研究会（Society for Research on Umami Taste）」の名称を入れてください。

### お問合せ先

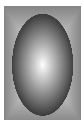
〒104-8315 東京都中央区京橋1-15-1

うま味研究会事務局

TEL：03-5250-8184 FAX：03-5250-8403

E-mail：umami@srut.org

URL： <http://www.srut.org>



## 膜シンポジウム2004

膜シンポジウム2004を下記の要領で開催いたします。本年の主題は“膜，最前線”とし，生

体膜，生体模倣膜，人工膜を問わず膜を使った新しい試みをはじめ，膜構造と膜機能に関する基礎

から応用までの広範囲にわたる研究発表をお寄せ頂き、膜科学ならびに膜技術の発展に貢献いたしたく考えております。このため、発表時間は一件当たり約25分(発表15分、討論10分)とし、シンポジウム参加者全員にて十分な討論を行う予定でおります。充実した討論を行うために、発表当日に使用される予定の図、表などの資料は、原則として講演要旨(和文A4版3頁、英文A4版1頁)に含めて頂くようお願いいたします。発表内容は、十分に討論できる内容であれば未発表、既発表を問いませんので奮ってお申し込み下さい。なお、今年度は例年通り京大薬学部記念講堂に会場が戻りますのでご注意下さい。

#### 記

開催日：2004年11月18日(木)、19日(金)  
場 所：京都大学薬学部記念講堂  
〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46-29

研究発表申込締め切り：8月12日(木) 必着  
下記事項を記入の上、E-mailで下記宛お申し込み下さい。

(1) 研究発表題目、(2) 所属、(3) 研究者(発表者に○印、ただし、討論に責任のもてる方)、(4) 発表内容(200字程度)、(5) 連絡先(氏名、所属、住所、電話、FAX、E-mail)。

講演要旨原稿締切：10月1日(金) 必着  
執筆要領は研究発表申込者に後日送付致します。

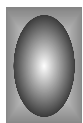
申し込み・問い合わせ先：  
〒662-8555 西宮市甕岩町6-58  
夙川学院短期大学 高木良助  
(TEL：0798-73-3755, FAX：0798-73-9186, E-mail：takagi@shukugawa-c.ac.jp)

主 催：日本膜学会  
協賛学会(一部交渉中を含む)：化学工学会・近畿化学協会・高分子学会・繊維学会・日本化学会・日本機械学会・日本人工臓器学会・日本腎臓学会・日本生化学会・日本生物工学会・日本生物物理学会・日本生理学会・日本DDS学会・日本透析医学会・日本農芸化学会・日本薬学会・日本薬剤学会・日本薬物動態学会・日本油化学会  
参加要領：

1) 参加費：主催・協賛学会員 6,000円(当日7,000円)、非会員 9,000円(当日10,000円)、学生 3,000円、法人(5名まで参加可) 25,000円

2) 懇親会：11月18日18時30分より京大会館特別室にて 会費 5,000円(当日6,000円)

3) 参加申込：E-mailで(1) 氏名、(2) 所属、(3) 連絡先、(4) 懇親会参加の有無を明記の上、上記メールアドレスまでお申し込み下さい。なお、準備の都合上シンポジウム、懇親会ともできるだけ事前申し込み下さいますようお願い致します。事前申し込みの締め切りは11月2日(火)です。参加費、懇親会費は郵便振替用紙(00990-5-242794、膜シンポジウム2004)でお支払い下さい。



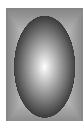
## 第4回 アジア太平洋神経再生シンポジウム

・期 日：平成16年12月5日(日)～8日(水)  
・会 場：千里ライフサイエンスセンタービル  
5F ライフホール  
大阪府豊中市新千里東町1-4-2  
(<http://www1.senri-lc.co.jp/lc-index.html>)  
・会 長：福田 淳(大阪大学医学系研究科情報生理学講座教授)

・主 題：[1] Stem Cells and Regeneration  
[2] Cell Transplantation and Functional Recovery  
[3] Degeneration and Regeneration of CNS  
[4] Therapeutic Approaches for Neural Protection and Repair

- ・基調講演：[1] Raymond D. Lund 博士 (Moran Eye Center, Utah University, USA)  
[2] Goeffrey Raisman 博士 (National Institute for Medical Research, UK)
- ・口 演：海外招待講演者 16 名，国内招待講演者 8 名を予定しています。
- ・ポスターセッション：神経再生に関する演題を募集致します。演題受付メ切は 10 月 8 日です。
- ・参加登録：早期事前登録メ切は 10 月 8 日 (金)，参加登録最終受付メ切は 11 月 19 日 (金) です。

- ・演題申し込み・登録の方法：下記のウェブサイトを御参照下さい。  
<http://www.congre.co.jp/apsnr/>
- ・問い合わせ先：〒565-0871 吹田市山田丘2-2  
大阪大学医学系研究科情報生理学講座  
澤井 元  
TEL：06-6879-3611  
FAX：06-6879-3619  
E-mail：apsnr@phys2.med.osaka-u.ac.jp



## 日本生理学会奨励賞の応募について

日本生理学会では、顕著な研究業績を有するとともに、将来、生理学会で活躍することが期待される若手研究者を奨励することを目的として日本生理学会奨励賞を平成 11 年度に設立致しました。下記の規定などをご覧の上、積極的に応募されることを希望します。なお、書類提出の締め切りは毎年 10 月末日ですので、ご注意ください。

### 日本生理学会奨励賞規定

#### 1. (目的)

日本生理学会は、顕著な研究業績を有するとともに、将来生理学会で活躍することが期待される若手研究者を奨励することを目的として日本生理学会奨励賞（以下、奨励賞という）を設ける。

#### 2. (対象)

3 年以上の正会員歴を有する満 37 歳以下の日本生理学会の会員を対象とする。

#### 3. (選考)

- 1) 応募者の中から毎年若干名を選考する。
- 2) 奨励賞の選考は奨励賞選考委員会が行う。
- 3) 選考委員には、直前に文部省学術審議会専門委員（日本生理学会から第一段審査委員候補者として推薦された科学研究費分科会委員）としての任期を終えた日本生理学会

会員があたる。任期は 2 年とする。

- 4) 選考委員長は選考委員の互選により選出する。
  - 5) 選考実施の細目は申請件数、内容などに応じて選考委員会で検討する。
4. (表彰)  
生理学会大会の総会の席上で受賞者を表彰し、賞状及び副賞を贈呈する。受賞者は日本生理学会大会において講演を行う。
5. (改正)  
本規定の改廃は日本生理学会常任幹事会で行う。  
本則は平成 11 年 4 月 1 日より施行するものとする。

### 日本生理学会奨励賞選考細則

#### 1. (選考の対象)

奨励賞は個々の論文を対象とするものではない。申請者の研究実績、研究構想と発展性を評価して選考する。対象となる研究の主たる部分が日本国内で行われたものに限る。

#### 2. (会員歴)

- 1) 学生会員であった期間は会員歴に含まれる。
- 2) 会費の納入が無かった期間は含まれない。

#### 3. (応募)

- 1) 応募者は申請書（所定の様式に従い，日本生理学会評議員による推薦のあるもの），履歴書，主要業績リスト，申請課題に関する800字以内の抄録，申請課題に関連した論文の別冊（印刷中の論文については校正刷りの写し）各10部を日本生理学会奨励賞選考委員会に提出する。
- 2) 応募者の年齢は当該年の12月末日のものとする。
- 3) 公募の締切りは毎年10月末日とする。
4. (副賞の金額)  
当分の間1件10万円とするが，状況により改訂することができる。

---

## 日本生理学会奨励賞申請書

平成 年 月 日

日本生理学会奨励賞  
選考委員会委員長殿

申請者氏名：

生年月日：

日本生理学会会員番号：

所属・職：

申請課題：

日本生理学会奨励賞に応募いたしたく，履歴書，主要業績リスト，申請課題に関する抄録，申請課題に関連した論文の別冊を添えて申請いたします。

署名

下記の理由により，申請者  
推薦します。

推薦理由：

を日本生理学会奨励賞受賞者としてふさわしいものと考え

推薦者：所属・職・氏名

第5回日本生理学会奨励賞受賞者（平成15年度）

1. 高橋 倫子（生理学研究所 生体膜部門）  
「インスリン開口放出機構の解析」

第4回日本生理学会奨励賞受賞者（平成14年度）

1. 小武海 公明（東京慈恵会医科大学 循環器内科）  
「無傷心筋における収縮蛋白Ca感受性の評価と生理学的意義」
2. 吉村 由美子（名古屋大学環境医学研究所 視覚神経科学分野）  
「大脳皮質一次視覚野における神経回路の情報処理特性と可塑性に関する研究」

第3回日本生理学会奨励賞受賞者（平成13年度）

1. 小林 章子（高知医科大学第二生理学）  
「熟産生調節機構の解明」
2. 松下 正之（岡山大学大学院医歯学総合研究科細胞生理）  
「蛋白質セラピー法による学習，記憶の分子機構の解明」

第2回日本生理学会奨励賞受賞者（平成12年度）

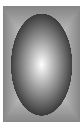
1. 磯村 宜和（東京都神経科学総合研究所統合生理研究部門）  
「大脳皮質錐体細胞の樹状突起におけるシナプス統合およびシナプス可塑性に関する研

究」

2. 川田 徹（国立循環器病センター循環動態機能部）  
「循環調節のシステム解析と臨床研究への展開」
3. 増田 正雄（東京都老人総合研究所・臨床生理部門）  
「中枢神経系による腓臓の機能調節機構研究」

第1回日本生理学会奨励賞受賞者（平成11年度）

1. 神谷 温之（群馬大・医・第2生理）  
「海馬シナプス前終末の可塑性メカニズムに関する研究」
2. 佐藤 容子（東京医歯大大学院・認知行動医学・脳行動病態学）  
「光学的計測法による中枢神経系の機能形成に関する研究」
3. 飛田 秀樹（名古屋市大・医・第2生理）  
「神経細胞移植による障害脳機能の再建」
4. 松井 広（東大大学院人文社会系心理学・博士課程）  
「網膜における興奮性シナプス伝達：双極細胞と神経節細胞からの同時記録による解析」
5. 美津島 大（横浜市立大・医・第2生理）  
「視床下部GABAニューロンによるGnRHニューロンの制御」



## 名古屋大学大学院教授公募

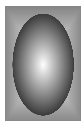
名古屋大学大学院・医学系研究科・細胞科学講座（細胞生理学分野）の教授1名を公募します。

- 生理学分野についての高度の学識・見識と優れた業績を有し、この専門分野の大学院と、関連する学部教育・研究について中心的指導者としての能力と熱意を持つ方の応募を希望します。自薦他薦を問いません。
- 提出書類：(1) 推薦書。自薦の場合は必要ありません。(2) 履歴書。(3) 業績目録（主要論

文10編以内に○印をつけてください。また様式中には論文リスト以外に、研究費取得状況と学会発表が含まれています。(4) 前記主要論文から5編の別刷り各1部。(5) これまでの研究概要と抱負（内容・書式は自由、2000字以内）。(6) 教育実績と抱負（内容・書式は自由）。(1)–(3)の書式につきましては、下記人事課までお問い合わせください。また書類送付に際しまして、封筒に人事応募と朱記してください。

- 公募締切り：2004年9月10日
- 送付・問合先：  
名古屋大学医学部・医学系研究科総務課第一庶務係

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65  
TEL：052(744)2423, 担当：黒田真一郎  
<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/>



## 平成17年度 生命科学科教員公募

- 採用職種：助手  
専門分野：神経科学分野(生理学, 分子生物学, 細胞生物学領域)  
採用人員：2名  
採用予定日：平成17年4月1日  
担当科目：生物学実験, 化学実験  
応募資格：(1) 博士号取得者および取得見込み者で, 着任時年齢 30歳前後  
(2) 教育・研究に熱心な方

### 提出書類：

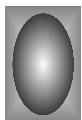
- (1) 履歴書(写真貼付)【本学部所定の様式】
- (2) 研究業績集計表(著書, 学術論文, 国際会議録, 講演発表論文, 特許などの業績)【本学部所定の様式】
- (3) 研究業績書【本学部所定の様式または任意の書式】
- (4) これまでの研究概要(A4 2000字程度 任意の書式)
- (5) 主要な著書の現物, 学術論文と国際会議録の別刷(3~5編 コピー可)
- (6) 本学における今後の教育・研究に対する抱負(A4 2000字程度 任意の書式)
- (7) 推薦書(自薦も可), または当方から応募者

- に関する問い合わせ可能な複数の方の連絡先  
(8) 連絡先(電話番号, Eメールアドレス)  
応募締切日：平成16年9月30日(木) 必着  
選考方法：第1次選考：書類選考審査(結果は10月下旬に本人宛通知します)  
第2次選考：書類審査後面接およびセミナーを実施します  
(選考日は, 本人宛に通知します)  
書類提出先：

〒577-8502 東大阪市小若江3-4-1  
近畿大学理工学部生命科学科 岩森学科長宛  
封筒に「生命科学科教員応募書類」と朱書きし, 簡易書留, または宅配便で送って下さい。なお, 応募書類は原則として返却しませんのでご了承ください。  
(改めて健康診断書などの提出書類をお願いする場合があります)

### 問合せ先：

近畿大学理工学部生命科学科 岩森正男  
Tel：06-6721-2332 (ext. 4124)  
Fax：06-6723-2721  
E-mail：iwamori@life.kindai.ac.jp



## 第3回大阪北部(彩都)地域知的クラスターシンポジウム

- 「大学発バイオベンチャーを検証する」  
—成功への課題と克服：資金調達・人材育成・  
企業との提携・研究開発において—  
主催 大阪北部(彩都)地域知的クラスター本

- 部〔(財)千里ライフサイエンス振興財  
団内〕  
後援(予定)  
文部科学省・近畿経済産業局・大阪府・

(社) 関西経済連合会・大阪商工会議所・  
大阪医薬品協会・NPO法人近畿バイオ  
インダストリー振興会議・(財)大阪産  
業振興機構・彩都(国際文化公園都市)  
建設推進協議会・国際文化公園都市(株)

日時 平成16年10月6日(水)13時~17時  
場所 千里ライフサイエンスセンター5階ライ  
フホール

大阪府豊中市新千里東町1-4-2

連絡先 大阪北部(彩都)地域知的クラスター本  
部〔(財)千里ライフサイエンス振興財  
団内〕 皆見(みなみ), 芥子(けし)

大阪府豊中市新千里東町1-4-2

TEL 06-6873-2006

FAX 06-6873-2306

E-mail: cluster-lsf@senri-lc.co.jp

プログラム

基調講演

「バイオベンチャーを検証する」

日経BP社先端技術情報センター長 宮田 満  
「投資家の立場からバイオベンチャーを検証する」  
株式会社バイオフィロンティアパートナーズ  
代表取締役社長 大滝 義博

一般講演

「企業シーズからベンチャー創成への苦難の道」

九州大学大学院農学研究院教授 久原 哲  
「ベンチャーの三大重要要素: 夢, アイデア, ス  
ピード」

慶応義塾大学先端生命科学研究所所長  
ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)  
取締役 富田 勝

「国立大学法人与大学発ベンチャーとの協業につ  
いて」

京都大学「医学領域」産学連携推進機構  
客員教授 寺西 豊

パネルディスカッション

「大学発バイオベンチャーを検証する」

—成功への課題と克服: 資金調達・人材育成・  
企業との提携・研究開発において—

日経BP社先端技術情報センター長

宮田 満 (司会)

株式会社バイオフィロンティアパートナーズ

代表取締役社長 大滝 義博

九州大学大学院農学研究院教授 久原 哲

慶応義塾大学先端生命科学研究所所長

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ(株)

取締役 富田 勝

京都大学「医学領域」産学連携推進機構

客員教授 寺西 豊

定員 300名

参加費 無料

申込方法

氏名, 勤務先・学校名, 〒住所, 電話および  
FAX番号を記載の上, 郵便, FAX電子メール  
にて下記宛お申し込み下さい。受付は先着順と  
し, 定員に達し次第打ち切らせていただきます  
のでご了承下さい。参加証は発行しませんので  
当日は直接ご来場ください。

申込先

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

(財)千里ライフサイエンス振興財団内

大阪北部(彩都)地域知的クラスター本部

TEL 06-6873-2006 FAX 06-6873-2306

E-mail: cluster-lsf@senri-lc.co.jp

http://www.senri-lc.co.jp/slf/